

Endeavor Pro7500

ユーザーズマニュアル 補足編



コンピューターの基本操作 CP p.3

キーボードやマウス、光ディスクドライブの使用方法など、コンピューターの 基本的な操作方法について記載しています。



コンピューターの基本状態を管理しているプログラム「BIOS」の設定を 変更する方法について記載しています。



本機のお手入れ方法や HDD領域の変更方法などについて記載しています。

目次	
1 コンピューターの基本操作	Windows 操作のヒントマウスを使う マウスを使う キーボードを使う
2 BIOSの設定	BIOS の設定を始める前に5 BIOS Setup ユーティリティーの操作5 BIOS Setup ユーティリティーの設定項目7
付録	お手入れ8 HDD 領域の変更8 コンピューターを廃棄するときは8



コンピューターの基本操作

キーボードやマウス、光ディスクドライブの使用方法など、コンピューターの 基本的な操作方法について記載しています。

Windows 操作のヒント	4
マウスを使う	8
キーボードを使う	9
HDD の概要	. 12
RAID 機能	. 15
光ディスクメディアを使う	.23
USB 機器を使う	. 32
画面表示機能	. 34
サウンド機能	. 35
ネットワーク機能	. 39
インターネットを使用する際のセキュリティー対策	.43
省電力機能	.51
そのほかの機能	. 56

Windows 操作のヒント

Windows 操作についてのヒントを記載します。

「Windows 7の使用方法

Windows 7 の使用方法は、次をご覧ください。

●ヘルプとサポート

「ヘルプとサポート」は次の場所から開きます。

[スタート] – 「ヘルプとサポート」



●「PC お役立ちナビ」 – [お役立ち]



「フォルダーメニューの表示

「ファイル」や「ツール」などのフォルダーメニューは、標準では表示されません。 フォルダーメニューを表示したい場合は、 (Alt) を押します。もう一度 (Alt) を押すと、フォル ダーメニューは表示されなくなります。



常にフォルダーメニューを表示したい場合は、次の場所で設定します。

[スタート] -- 「コントロールパネル」-- 「デスクトップのカスタマイズ」-- 「フォルダー オプション」-- 「表示」タブ-- 「常にメニューを表示する」

「ユーザーアカウントを作る

本機を何人かで共同で使用する場合は、ユーザーアカウントを作成すると便利です。ユーザーア カウントをいくつか作成すると、Windows をユーザーごとに切り替えて、各ユーザーの構成で 本機を使用することができます。

ユーザーアカウントの作成

ユーザーアカウントの作成は、次の場所で行います。

[スタート] - 「コントロールパネル」- 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」 - 「ユーザーアカウント」- 「別のアカウントの管理」- 「新しいアカウントの作成」

※ユーザー名は半角英数字を入力してください。 作成時、ユーザーに応じてユーザーアカウントの種類(権限)を設定してください。 ユーザーアカウントの種類(権限)には、次の2つがあります。

●管理者

すべてのシステム項目にアクセスし、設定を変更したり、ドライバー、ソフトウェアのインストールをすることができます。

購入時やリカバリー時の Windows のセットアップで入力したユーザー名(アカウント)は、「管 理者」になります。

●標準ユーザー

ー部のシステム項目の変更や、ドライバー、ソフトウェアのインストールは行うことができま せん。管理者のパスワードを入力すれば、変更やインストールが可能になります。

「ユーザーアカウント制御画面

コントロールパネルなどで 🔮 が表示されているシステム項目にアクセスしようとしたり、ド ライバーやソフトウェアのインストールをしようとすると、「ユーザーアカウント制御」画面が 表示されます。これは、項目にアクセス制限がかけられているためです。

🚱 ユーザー アカウント制御	*
🌍 次のプログラムにこのコンピ.	ューターへの変更を許可しますか?
プログラム名: 確認済みの発行元:	ユーザー アカウント制御の設定 Microsoft Windows
受 詳細を表示する(D)	(まい(Y) しいえ(N)
<u> 21</u>	1らの通知を表示するタイミングを変更する

表示される「ユーザーアカウント制御」 画面は、ユーザーアカウント(管理者または標準ユーザー) により異なります。本書の手順は、管理者アカウントで Windows にログオンした状態を前提に 記載しています。

Windows Live Essentials

本機には、Windows Live の以下のソフトウェアがインストールされています。

- Windows Live Messenger
- ●Windows Live フォトギャラリー
- ●Windows Live ムービーメーカー
- ●Windows Live メール
- Microsoft Silverlight
- Windows Live Mesh
- Windows Live Writer

起動方法

Windows Live の各ソフトウェアは、次の場所から起動します。

[スタート] – 「すべてのプログラム」

使用方法

各ソフトウェアの使用方法は、次の場所をご覧ください。

- ●各ソフトウェアのヘルプ
- ●Windows Live のヘルプページ http://help.live.com
- ●Windows Live ポータルサイト http://windowslive.jp.msn.com/
- Windows Live Solution Center http://windowslivehelp.com/

Windows Live ID を作成する

Windows Live を使用するには、Windows Live ID が必要になります。 Windows Live ID は無償で作成することができます。 インターネットへ接続後、各ソフトウェアの「サインイン」画面で作成してください。 次のいずれかのサービスをご利用の場合は、そのアカウントを Windows Live ID として使うこ とができます。

MSN Hotmail
 MSN Messenger

Microsoft Passport

サポートについて

Windows Live のサポートは、マイクロソフト社で行っています。無償サポートは、電子メー ルのみです。 サポートの詳細は、次の Web ページをご覧ください。

http://support.live.com

Windows XP Mode(Windows 7 Ultimate/Professionalのみ)

Windows XP Mode を使用すると、Windows 7 上で Windows XP を起動し、Windows XP のアプリケーションを動作させることができます。

起動方法

Windows XP Mode は、次の場所から起動します。

[スタート] - 「すべてのプログラム」- 「Windows Virtual PC」- 「Windows XP Mode」

※ 初回起動時はセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを行っ てください。詳しいセットアップ手順は次の場所をご覧ください。

🖳 「PC お役立ちナビ」-画面下「ユーザーサポート」- FAQ 番号:29149

マウスを使う

ここでは、一般的なマウスについて説明します。

マウスのマニュアル(冊子または PDF)が添付されている場合は、本書とあわせてご確認ください。

マウスの操作

- ・表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッドの 上で使用しないでください。マウスの動きがコンピューターに伝わりません。
 - ・ソフトウェアによっては、ホイールボタンが使用できない場合があります。
 - 本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。



マウスの基本的な操作は、次のとおりです。

クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを1回カチッと押 します。
ダブルクリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを2回続けてカチ カチッと押します。
右クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、右ボタンを1回カチッと押します。
ドラッグアンドドロップ	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを押したままの状 態でマウスを移動し、離します。
スクロール	ホイールボタンを指先で前後に動かすと、縦スクロール操作を行うこと ができます。ホイールボタンをクリックすると、マウスを動かしてオー トスクロールを行うこともできます。

マウスの設定変更

マウスボタンの設定や使用環境の変更は、次の場所で行います。

[スタート] – 「コントロールパネル」 – 「ハードウェアとサウンド」 – 「マウス」

キーボードを使う

ここでは、一般的なキーボードについて説明します。 キーボードのマニュアル(冊子または PDF)が添付されている場合は、本書とあわせてご確認 ください。

キーの種類と役割

各キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。



文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ(キーの上面)に印字された文字が入力されます。 入力モードによって、入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢 字やひらがなに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタ カナに変換します。

入力モードの切り替え

(*物金)を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。 日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

日本語を入力するには

ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。 本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

MS-IME の使い方

MS-IME パネルの主要なボタンの名称と働きは、次のとおりです。 ボタンをクリックして各設定を行ったり、ヘルプを参照したりします。



MS-IME 以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムのマニュアルをご覧ください。

「キーロック表示ランプ

キーボード右上の3つのランプは、キーボードの入力状態を表示しています。

	役割	数値キーの状態を切り替え		
	切り替え	Num Lock を押します。		
Num Lock	点灯時	数値を入力		
	消灯時	カーソルの位置を制御 数値キーの 🔶 🚹 Home などが使えます。		
	役割	アルファベットの大文字 / 小文字の切り替え		
Cans Lock	切り替え	Shift + Caps を押します。		
Caps LUCK	点灯時	大文字を入力		
	消灯時	小文字を入力		
Scroll Lock	役割	ソフトウェアによって異なります。		
	切り替え	「Scroll」を押します。		

「PS/2 キーボードからの起動

PS/2 キーボードでは、設定されているキーを押すと、次のようなことができます。

●本機の電源を入れる

●本機を省電力状態から復帰させる

⑦ p.54「省電力状態からの復帰方法」

・この機能は、USB 接続のキーボードでは使用できません。
 ・電源切断時に、正常にシャットダウンした状態でのみ使用可能です。

購入時、本機は ○ キー*で起動できるように設定されています。

Ctrl + Esc で起動する場合は、「BIOS Setup ユーティリティー」の次の項目で設定変更してください。

[Advanced] メニュー画面-「ACPI Configuration」-「Power on by PS/2 Keyboard」

⑦ p.59 [BIOS Setup ユーティリティーの操作]
 ⑦ p.71 [Advanced メニュー画面]

*106 PS/2 コンパクトキーボード(ホットキー付)にのみ搭載されています。

HDD の概要

本機には、記憶装置として HDD (ハードディスクドライブ) が搭載されています。



- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えると HDD が故障するおそれ があります。ショックを与えないように注意してください。
- ・HDD が故障した場合、HDD のデータを修復することはできません。

「データのバックアップ

HDD に記録されている重要なデータは、光ディスクメディアや外付け HDD などにバックアッ プしておくことをおすすめします。万一 HDD の故障などでデータが消失してしまった場合でも、 バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。 バックアップ方法は、次の場所をご覧ください。

[PC お役立ちナビ] – [お役立ち] – 「カテゴリから選ぶ」 – 「Windows の操作」 –「バックアップ」

購入時のHDD領域

購入時の HDD は、お客様の選択により次のように設定されています。

通常

HDD		ドライブ(領域)	容量
1 台または RAID モデル		消去禁止領域	約 500MB
		C ドライブ 残り	
複数台	1 台目	消去禁止領域	約 500MB
		Cドライブ	残り
	2 台目以降	D~	1 台につき 1 台すべて

すべてのドライブは NTFS ファイルシステムでフォーマットされています。

HDD 設定変更サービスを選択された場合

HDD		ドライブ(領域)	容量
1 台または RAID モデル		消去禁止領域	約 500MB
		Cドライブ	購入時に選択された容量
		D ドライブ	残り
複数台		消去禁止領域	約 500MB
	1 台目	Cドライブ	購入時に選択された容量
		D ドライブ	残り
	2 台目以降	E~	1 台につき 1 台すべて

すべてのドライブは NTFS ファイルシステムでフォーマットされています。

参考 HDD 設定変更サービス

HDD 設定変更サービスとは、1 台目の HDD の領域を C ドライブ、D ドライブに分割した状態でコンピューターをお届けするサービスのことです。

消去禁止領域とは

「消去禁止領域」には、Windows 回復環境(Windows RE)が設定されています。 「別冊)『ユーザーズマニュアル』-「Windows 回復環境(Windows RE)を使う」

HDDを分割して使用する

1 台の HDD は、いくつかの領域に分割して、それぞれ別々のドライブとして使用することができます。

例:1 つの HDD 領域(C ドライブ)を2つの HDD 領域(C ドライブとD ドライブ)に分割 することができます。



詳しくは、 / ア.81 「HDD 領域の変更」をご覧ください。

HDDを増設・交換したら

HDD を増設・交換した場合は、 🎓 p.82 「HDD 領域の変更(拡張 / 縮小 / 削除 / 作成)」を ご覧になり、ドライブの作成を行ってください。

※ RAID を構成する場合は、増設・交換した HDD にドライブを作成する必要はありません。

制限 すでにデータが登録されている HDD にドライブを作成すると、その HDD に保存 されていたすべてのデータが消失します。ドライブを作成する前に、重要なデータ が保存されていないことを確認してください。

RAID 機能

RAID とは、同一容量の HDD を複数台組み合わせて使用するシステムのことです。ここでは、 RAID の種類や RAID の構成・削除方法などについて説明します。 本機では、次の場合に RAID 機能を使用することができます。

●購入時、RAID モデルを選択された場合

RAID モデルの場合、搭載の HDD であらかじめ RAID が構成されています。

●同一容量の HDD を 2 台または 4 台装着している場合
 RAID を構成して使用することができます。

RAID の種類

本機で使用できる RAID は、RAIDO、RAID1 の2 種類です。

種類	別名	HDD 必要台数	特徴
RAIDO	ストライピング	2台	2 台の HDD を 1 つに結合して使用。 大容量のデータを高速に書き込むことができる。
RAID 1	ミラーリング	2台	2 台の HDD に同時に同じデータを書き込む。 一方の HDD が破損しても、もう一方の HDD からデー 夕を復旧することができる。
RAID10	ミラーリング + ストライピング	4 台	ミラーリング(RAID1)した HDD をストライピング (RAID0)して使用。

RAIDの構成・削除・修復

RAID の構成・削除・修復方法を説明します。



RAID の構成・削除をすると、HDD に収録されているデータはすべて消失します。 RAID の構成・削除をする前に、重要なデータをバックアップしてください。

RAID の構成・削除・修復の流れ

次の流れに従って、RAID の構成・削除・修復を行ってください。



BIOS を設定する

BAID を構成・削除する場合は、BIOS の設定が必要です。

RAID を構成する場合

BAID を構成する場合は、「BIOS Setup ユーティリティー」で設定値を次のように変更してく ださい。RAID モデルの場合は、あらかじめ「RAID」に設定されています。

「Advanced」メニュー画面 – 「SATA Configuration」 [SATA Mode] : [RAID Mode] ⑦ p.59 [BIOS Setup ユーティリティーの操作] アアロン 「Advanced メニュー画面」

RAID を削除した場合

RAID を削除した後、RAID 機能を使用しない場合は、「BIOS Setup ユーティリティー」で設 定値を次のように変更します。

「Advanced」メニュー画面-「SATA Configuration」 [SATA Mode] : [AHCI Mode] ⑦ p.59 [BIOS Setup ユーティリティーの操作] アアロン 「Advanced メニュー画面」

RAID Configuration Utility の起動と終了

RAID Configuration Utility の起動、終了方法は次のとおりです。

記動

キーボードの Ctrl と O の位置を確認します。 3 では、「Press < CTRL-I > to…」のメッセージが表示されている間に、すばやく

Ctrl + I を押す必要があります。

🖊 本機の電源を入れます。

すでに電源が入っている場合は、再起動します。



画面に「EPSON」と表示された直後に「Press < CTRL-I > to enter Configuration…」と表示されたら、すぐに Ctrl + 1 を押します。

RAID Configuration Utility が起動します。 Windows が起動してしまった場合は、再起動してやりなおしてください。



<画面はイメージです>

終了

「MAIN MENU」項目で「4.Exit」を選択し、 → を押します。 項目の移動は (↑) (↓) で行います。

次の確認メッセージが表示されたら、 Y を押します。 Are you sure you want to exit ? (Y/N)

RAID Configuration Utility が終了します。

RAID を削除する

RAID を構成しなおす場合や、RAID 機能を使用しない場合は、RAID を削除します。 RAID を削除する手順は、次のとおりです。



RAID Configuration Utility を起動します。 (ア p.17 [RAID Configuration Utility の起動と終了]



「MAIN MENU」画面で「2.Delete RAID Volume」を選択し、 🖵 を押します。

「DELETE VOLUME MENU」画面で、削除したい RAID を選択し、Delete を押します。



次の確認メッセージが表示されたら、 ── を押します。

Are you sure you want to delete "XXX" ? (Y/N)

RAID が削除され、「MAIN MENU」画面が表示されます。「DISK/VOLUME INFORMATION」の「RAID Volumes:」で RAID が削除されたことを確認します。

5 RAID Configuration Utility を終了します。

 p.17「RAID Configuration Utility の起動と終了」
 これで、RAID の削除は完了です。
 続いて RAID を構成しない場合は、BIOS の設定値を変更し、Windows のインストールを行ってください。
 p.17「BIOS を設定する」
 「別冊」「ユーザーズマニュアル」 – 「Windows 7 のインストール」

RAID を構成する

本機で構成できる RAID は、RAIDO、RAID1、RAID10 です。 RAID を構成する手順は、次のとおりです。

A RAID を構成すると、HDD に収録されているデータはすべて消失します。 RAID を構成する前に、重要なデータをバックアップしてください。

1	RAID Configuration Utility を起動します。
2	「MAIN MENU」画面で「1.Create RAID Volume」を選択し、 🖵 を押します。
3	「CREATE VOLUME MENU」画面が表示されたら、[Name] に任意の名前を入 カし、 し を押します。 RAID の名前を変更しない場合は、そのまま し を押します。
4	「RAID Level」で「RAIDO(Stripe)」、「RAID1(Mirror)」、「RAID10 (RAID0+1)」のいずれかを選択し、 🚽 を押します。
5	RAIDO または RAID10 の場合、「Strip Size」で 🚽 を押します。
6	「Capacity」で 🚽 を押します。
7	「Create Volume」が選択されている状態で 🚽 を押します。



次の確認メッセージが表示されたら、 Y を押します。

Are you sure you want to create this volume ? (Y/N)

RAID が構成され、「MAIN MENU」画面が表示されます。構成した RAID の情報を「DISK/ VOLUME INFORMATION | で確認することができます。

9 RAID Configuration Utility を終了します。 ⑦ p.17 「RAID Configuration Utility の起動と終了」

10 「BIOS Setup ユーティリティー」が表示されたら、「Boot」メニュー画面-「Set Boot Priority」で、「Hard Disk」が 3 で設定した名前になっていることを確認 します。

[BIOS Setup ユーティリティー| が表示されない場合は、 [BIOS Setup ユーティリティー] を起動してから確認してください。 ⑦ p.59 [BIOS Setup ユーティリティーの起動]

11 F10 を押して [Yes] を選択し、「BIOS Setup ユーティリティー」を終了します。

これで RAID の構成は完了です。 続いて Windows のインストールを行います。 「別冊」『ユーザーズマニュアル』 – 「Windows 7 のインストール」

RAID を修復 / 再構成する

RAID 構成時に HDD が破損した場合は、データの状態によって RAID の修復または再構成が必要です。

次の流れに従って、RAID を修復または再構成してください。



RAID の修復

RAID の修復は、RAID Configuration Utility で行います。 RAID の修復方法は、次のとおりです。



RAID Configuration Utility を起動します。 ⑦ p.17 [RAID Configuration Utility の起動と終了」

2

「DEGRADED VOLUME DETECTED」画面が表示されたら、新しく接続した HDD を選択し、 🖵 を押します。

3 [DISK/VOLUME INFORMATION] 項目で、「RAID Volumes:」の「Status」 項目が「Rebuild」になっていることを確認します。



4 RAID Configuration Utility を終了します。 ⑦ p.17 [RAID Configuration Utility の起動と終了」

これで、RAID の修復は完了です。

光ディスクメディアを使う

本機には、購入時に選択されたシリアル ATA 仕様の光ディスクドライブが搭載されています。 光ディスクドライブは、CD-ROM などの光ディスクメディアを使用するための機器です。 ここでは、光ディスクドライブの基本的な使い方について説明します。



<u>
警告</u>

光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。 飛び散って、けがをする危険があります。



光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れないでください。 はさまれると、けがの原因になります。

- ・光ディスクドライブを長期間使用しないと、イジェクトボタンを押してもディス クトレイが開かないことがあります。定期的(3ヶ月に1回程度)にイジェクト ボタンを押して、ディスクトレイの開閉を行うことをおすすめします。
 - 本機では、CD(コンパクトディスク)の規格に準拠しない「コピーコントロール CD」などの特殊ディスクは、動作保証していません。本機で動作しない特殊ディ スクについては、製造元または販売元にお問い合わせください。

使用可能な光ディスクメディア

光ディスクドライブの種類によって、メディアへの書き込みや DVD の再生など、使える機能が 異なります。

お使いの光ディスクドライブで使える機能とメディアの種類は、次をご覧ください。

🔍 「PC お役立ちナビ」-[マニュアルびゅーわ]-「光ディスクドライブ取扱説明書」

光ディスクメディアの違いについての簡単な説明は、次をご覧ください。

🔍 「PC お役立ちナビ」-[お役立ち]

光ディスクメディアのセットと取り出し

光ディスクメディアのセットと取り出し方法について説明します。



セット方法





印刷面を上にして、光ディスクメディアをディスクトレイのくぼみにセットします。





イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。





イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを開きます。





2 光ディスクメディアをディスクトレイから取り出します。



参考

3 イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。

イジェクトボタンを押してもメディアが取り出せない場合

ソフトウェアによっては、独自の取り出し方法でないとメディアが取り出せないものもあ ります。詳しくはお使いのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

「CDメディアの読み込み・再生

光ディスクドライブでは、データ CD を読み込めるほかに、音楽 CD やビデオ CD、フォト CD などの再生を行うことができます。これらのメディアの中には、再生時に別途専用ソフトウェア が必要なものもあります。

「DVDメディアの読み込み・再生」

光ディスクドライブでは、データが収録された DVD メディアを読み込めるほかに、DVD VIDEO などの再生ができます。DVD VIDEO の再生には、専用のソフトウェアが必要です。

DVD VIDEO 再生ソフト

DVD VIDEO の再生には、次のソフトウェアを使用します。

●PowerDVD(Blu-ray ドライブ搭載時) / ア p.26

●WinDVD(Blu-ray ドライブ以外の光ディスクドライブ搭載時) 🌈 p.28

制限 DVD-ROM ドライブ(再生ソフトなし)を選択された場合、WinDVD は添付され ていません。

「PowerDVDの使い方

Blu-ray ドライブ搭載時

PowerDVD では、ビデオ CD や DVD/BD VIDEO、動画ファイル、音楽ファイルを再生する ことができます。

PowerDVD は、次の場所から起動します。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「CyberLink PowerDVD10」 - 「CyberLink PowerDVD10」

PowerDVD の詳細は、起動した画面の「ヘルプ」をご覧ください。

CPRM で著作権保護された DVD メディアを再生するには

PowerDVD は CPRM で著作権保護された DVD メディアの再生に対応していますが、初回の 再生時にインターネットへの接続が必要です。 初めて CPRM で著作権保護された DVD メディアを再生する際にメッセージが表示されるので、 インターネットに接続してください。以降は、CPRM で著作権保護されたメディアの再生が可 能になります。

デジタル出力時の制限事項

デジタル出力する場合、HDCP 規格に対応していないデジタルディスプレイには再生画像を表示できません。

BD メディアを再生するには

Blu-ray Disc(BD)は、著作権保護技術として AACS を採用しており、随時更新されています。 PowerDVD にも AACS キーが内蔵されており、定期的に AACS キーを更新しないと BD メディ アを再生できない場合があります。

PowerDVDの使用時に次のようなメッセージが表示されたら、内容をご確認の上、CyberLink Web サイトに接続して PowerDVD のアップデートバージョンをダウンロードし、AACS キーの更新を行ってください。

・「PowerDVD のクリティカルなアップデート」

・「プレーヤーのクリティカルなコンポーネントは、定期的なアップデートが必要です。」

・エラーメッセージ「Cannot support this title, please update your player ・・・」

※ AACS キーを更新する際は、インターネットに接続してください。

再生時の制限事項

BD メディアの再生には、次の制限事項があります。

- 次のディスプレイには、再生画像を表示できません。
 - ・アナログディスプレイ
 - ・HDCP に対応していないデジタルディスプレイ
- ●2つのディスプレイに同じ画面を表示するクローン表示はサポートしていません。

PowerDVD サポート窓口

PowerDVD に関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。 ※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

電話番号:0570-080-110 (ナビダイヤル)

ナビダイヤルがご使用できない場合は下記番号をご利用ください。 03-5205-7670

営業時間:10:00~13:00、14:00~17:00(土・日・祝日・休業日を除く)

カスタマーサポートページ:http://support.jp.cyberlink.com/

WinDVDを使う

Blu-ray ドライブ以外の光ディスクドライブ搭載時

WinDVDは、次の場所から起動します。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「Inter Video WinDVD」 - 「Inter Video WinDVD for EPSON」

WinDVD の詳しい使用方法は、WinDVD のヘルプをご覧ください。

DVD VIDEO 再生時の不具合

WinDVD で DVD VIDEO の再生をすると、次のような不具合が発生する場合があります。

・解像度や色数、リフレッシュレートの設定により、DVD VIDEO の再生ができないことがあ ります。

DVD VIDEO の再生ができない場合は、解像度や色数、リフレッシュレートを調節してみて ください。

了 p.34 「表示に関する各種設定」

ディスプレイを2台接続して、クローン(ミラー)表示をしていると、「使用しているディスプレイ環境は保護されているコンテンツの再生をサポートしていません。」というメッセージが表示され、DVD VIDEOの再生が中断されます。このような場合は、クローン(ミラー)表示を無効にしてください。

CPRM で著作権保護されたメディアを再生するには

CPRM で著作権保護されたメディアを再生する場合は、インターネットに接続した状態で、 「CPRM Pack」のダウンロードおよびインストールを行ってください。

「CPRM Pack」のダウンロードとインストール

インストールには、CPRM で著作権保護されたメディアが必要になります。 「CPRM Pack」のダウンロードおよびインストール手順は次のとおりです。

[スタート] ー「すべてのプログラム」ー「InterVideo WinDVD」ー「InterVideo WinDVD for EPSON」をクリックし、WinDVD を起動します。

- 2 CPRM で著作権保護されたメディアを光ディスクドライブにセットします。
- 3 「CPRM のサポートが有効になっていないため、CPRM コンテンツを再生できません。・・・」と表示されたら、[OK]をクリックします。
- 4 「コーレル CPRM Pack ダウンロード用登録ページへようこそ」と表示されたら、 画面に従って登録を行います。

登録が完了すると、ダウンロードページが表示されます。

5 ダウンロードページが表示されたら、画面の指示に従って、「CPRM Pack」のダウンロードとインストールを実行します。

CPRM で著作権保護されたメディア再生時の制限事項

CPRM で著作権保護されたメディアの再生には、次の制限事項があります。

- ●管理者(Administrator)のアカウントでログオンしてください。
- ●映像をデジタル出力する場合は、HDCP 規格に対応したディスプレイをご使用ください。
- ●2 台のディスプレイに同じ画面を表示するクローン(ミラー)表示はできません。

WinDVD ユーザーサポート情報

WinDVD に関するお問い合わせは、下記にご連絡ください。 ※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

ホームページ : http://www.corel.jp/
 サポートホームページ : http://www.corel.jp/support/
 電話 : 03-3544-8179
 サポート時間 平日 10:00 ~ 12:00 13:30 ~ 17:30
 (土・日・祝日・夏季・年末年始・特定休業日を除く)

メールでのお問い合わせは、サポートホームページに掲載されているメールフォームからご利 用いただけます。

WinDVDのよくある問い合わせ(FAQ)もサポートホームページに掲載しております。

コーレル株式会社

光ディスクメディアへの書き込み

書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時

書き込み機能のある光ディスクドライブでは、データ、音楽、画像などを光ディスクメディアに 書き込むことができます。

書き込み可能なメディアは、お使いの光ディスクドライブにより異なります。書き込み可能なメ ディアについては、次をご覧ください。

______ 「PC お役立ちナビ」−[マニュアルびゅーわ]−「光ディスクドライブ取扱説明書」



ライティングソフト

書き込み時の注意

書き込みを行う場合は、次の点に注意してください。

●省電力機能を無効にする

●速度に対応した光ディスクメディアを選ぶ

書き込みを行う場合は、お使いの光ディスクドライブの書き込み速度に対応したメディアを使 用してください。

光ディスクドライブの書き込み速度は、次をご覧ください。

_____、「PC お役立ちナビ」−[マニュアルびゅーわ]−「光ディスクドライブ取扱説明書」

Nero Multimedia Suite 10 Essentialsの使い方

書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時

ライティングソフト「Nero Multimedia Suite 10 Essentials」を使用すると、光ディスクメディアにデータや音楽、画像などのファイルを書き込むことができます。



「Nero Multimedia Suite 10 Essentials」と Windows 標準の書き込み機能を同時に使用しないでください。

使い方

書き込みは「Nero Express」で行います。 Nero Express は次の場所から起動します。

[スタート] – 「すべてのプログラム」–「Nero」–「Nero 10」–「Nero Express」

Nero Express の詳しい使用方法は、ヘルプをご覧ください。

Nero Multimedia Suite 10 Essentials ユーザーサポート情報

Nero Multimedia Suite 10 Essentialsのサポートについて説明します。

サポートセンターに連絡する前に

Nero Multimedia Suite 10 Essentialsの操作などでお困りの場合は、サポートセンターに 連絡する前に、まずヘルプやホームページのサポート情報をご覧ください。

http://www.nero.com/jpn/support.html

サポートセンターに問い合わせる

ヘルプ、ホームページのサポート情報を見ても問題が解決しない場合は、下記にお問い合わせく ださい。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

株式会社 Nero サポートセンター

受付時間 : 10:00~12:30/13:30~17:00

月~金曜日(祝、特定休業日を除く)

TEL : 045-910-0255

ホームページ:http://www.nero.com/jpn/support-nero10.html

E-MAIL :上記ホームページのサポートページからお問い合わせください。

※お問い合わせの際は、パソコンの機種名をお知らせいただく必要があります。

USB 機器を使う

本機には次の USB コネクターが搭載されています。

- ●USB2.0 コネクター(背面×6)
- ●USB3.0 コネクター(前面×2、背面×2)

※ 転送速度は、本機のコネクターと接続する USB 装置の組み合わせによります。

 ・USB フラッシュメモリーや USB HDD などの USB 記憶装置を接続していたり、 USB FDD に FD がセットされている状態で本機の電源を入れると、Windows が起動しないことがあります。USB 記憶装置は、Windows 起動後に接続してく ださい。
 USB 記憶装置を接続した状態で Windows を起動したい場合は、「BIOS Setup ユーティリティー」で起動するデバイスの順番を変更してください。
 ・ p.68 「起動(Boot) デバイスの順番を変更する」
 ・ 接続した USB 機器によっては、本機の電源を切った状態でも、ランプが光り続 けます。これは、お使いの USB 機器の仕様です。

USB機器の接続と取り外し

USB 機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

接続

USB 機器の接続方法は、次のとおりです。

USB 機器の USB コネクターを、本機の USB コネクターに接続します。





USB 機器によっては、通知領域-[△]内に「取り外し」アイコンが表示されます。



接続する USB 機器によっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくは USB 機器のマニュアルをご覧ください。

USB 機器の取り外し

USB 機器の取り外しは、コンピューターの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

●そのまま取り外す

通知領域- [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った 場合はそのまま取り外せます。

●USB 機器の終了処理をして取り外す

通知領域- [△]内に「取り外し」アイコンが表示されている場合は、終了処理を行います。

USB 機器の終了方法は次のとおりです。

 「通知領域」 – [△] – 「取り外し」アイコン–「(取り外したい USB 機器)の取り 出し」をクリックします。

複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



2「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、USB 機器を本機から取り 外します。

画面表示機能

本機では、拡張スロットに装着されているビデオボードの機能を使用して画面表示を行います。 搭載されているコネクターや画面設定のユーティリティーはビデオボードにより異なります。 ビデオボードにマニュアルが添付されている場合は、本書と合わせてご覧ください。



を示に関する各種設定

画面表示に関する設定は次の場所で行います。

デスクトップ上の何もないところで右クリックー「画面の解像度」



ビデオボードによっては、ユーティリティーでさらに詳細な設定をすることができます。ビデオ ボードにマニュアルが添付されている場合は、本書と合わせてご覧ください。

サウンド機能

本機のマザーボード上には、サウンド機能が搭載されています。 本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力するには、スピーカーを接続する必要があ ります。

「オーディオ機器の接続」

本機には、オーディオ機器を接続するためのコネクターが搭載されています。 各コネクターの位置は、次のとおりです。



ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調 節してください。 ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。



マイク入力コネクターに接続して使用できるマイクは、プラグインパワー対応のコンデン サーマイクです。



「音量の調節

スピーカーを接続していて、Windows 起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大き すぎたりする場合は、次の方法で音量を調節します。 画面右下の通知領域に表示されている「スピーカー」アイコン(白色)をクリックすると、「ボリュー




サウンドユーティリティーを使う

サウンドユーティリティーを使用すると、スピーカーの設定やマイク音量の設定、音響効果の設 定などができます。

サウンドユーティリティーを起動するには、通知領域-[△]内の「Realtek HD オーディオマ ネージャ」アイコン(赤色)をダブルクリックします。



Realtek HD オーディオ マネージャアイコン

次の画面が表示されます。



※「スピーカー」、「マイク」タブは、機器接続時のみ表示されます。

マイク使用時の音量調節

本機にマイクを接続して使用する場合、マイクの音量調節はサウンドユーティリティーの「マイク」タブで行います。



^{※「}マイク」タブは、マイク接続時のみ表示されます。

録音時に音量を調節しても音が小さいときは、 🕎 をクリックしてマイクブーストのつまみを右 ヘスライドさせ、音量を上げてください。

ネットワーク機能

本機のマザーボード上には、1000 Base-T/100 Base-TX/10 Base-Tに対応したネットワーク機能(有線 LAN)が搭載されています。

ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりする ことができます。

ネットワーク機能を使用する場合は、本機背面の LAN コネクター(😤)に市販の LAN ケーブルを接続します。



ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピューターと接続するために、LAN ケーブルやハブ (サーバー)などが必要です。そのほかに、Windows 上でネットワーク接続を行うためには、 プロトコルの設定なども必要になります。

ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器のマニュアルなどをご覧ください。

制限	 ネットワークに接続している場合に、省電力状態になると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。 このような場合は次のいずれかの方法をとってください。 ・再起動する ・省電力状態に移行しないように設定する ア.53「時間経過で移行させない」
	 ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。 本機のネットワーク機能では、リピーター・ハブを使用できません。

インターネットへの接続

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

そのほかの機能

本機では、ネットワークを構築して接続環境を整えると、次の機能を使用できます。

- •Wakeup On LAN 7 p.40
- ●リモートブート *了* p.42

Wakeup On LAN

Wakeup On LAN を使用すると、ネットワークからの信号により本機を起動することができます。

シャットダウン状態から起動させる

制限 シャットダウン状態からの起動は、Windows を正常に終了した状態でないと行え ません。

シャットダウン状態から Wakeup On LAN を行う場合は、次の設定が必要です。

- ●BIOS の設定変更
- ●ネットワークアダプターの設定変更

BIOS の設定変更

「BIOS Setup ユーティリティー」の次の項目を有効にしてください。

「Advanced」メニュー画面-「ACPI Configuration」

[Wake on Intel GbE LAN from S5]: [Enabled] (有効)

⑦ p.59「BIOS Setup ユーティリティーの操作」
 ⑦ p.71「Advanced メニュー画面」

ネットワークアダプターの設定変更

ネットワークアダプターの設定を変更する方法は、次のとおりです。

[スタート] -「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「デバイスマネー ジャー」をクリックします。



2 表示された「デバイスマネージャー」の「ネットワークアダプター」をダブルクリッ クし、「Intel (R) 82579V・・・」をダブルクリックします。





表示された「Intel (R) 82579V・・・」画面の「電力の管理」タブをクリックし ます。

Δ

「電源オフ状態からのWake On Magic Packet」にチェックを入れて[OK]をクリッ クします。

Intel(R) 82579V Gigabit Network Connectionのプロパティ				
ドライバー 全般 リンク速度	詳細 詳細設定 電	力の管理	リソース チーム化	VLAN
intel 節電と w	ake on LAN オブシ	ヨン		
節電オブション(<u>P</u>):				
 ✓ システムをウェイクアッ ✓ システムをウェイクアッ ✓ 省エネルギー・イーサコ 	ブせずに ARP 要求 プせずに NS 要求I ネット	対に応答する こ応答する		*
Wake on LAN(<u>W</u>):	ł			A
Wate on Hogis Facility Wake On Magic Packet				
電源オフ状態からの Wake On Magic Packet				
アダプターが電源オフ (S5)の状態から Advanced Power Management (APM)対応のシステムをウェイクできるようにします。システムの BIOS がサポートしている場合、ACPIシステムはコンピューターを S5の状態か らウェイクアップできます。				
				Ŧ





リモートブート

リモートブートを使用すると、ネットワークを介して、あらかじめセットアップされたサーバー 上から Windows をインストールすることができます。

インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アク セスなどの危険に対する、セキュリティー機能が備えられています。 ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コ ンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

Windows Update

「Windows Update」は、本機の Windows の状態を確認し、Windows の更新プログラムをイ ンターネットからダウンロードしてインストールする機能です。 Windows を最新の状態にするため、Windows Update を行ってください。

自動更新の設定

本機を使用する際は、自動で Windows Update が行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムのダウンロードとインストールが自動で行われます。

Windows のセットアップ中に「コンピューターの保護と・・・」画面で「推奨設定を使用します」を選択した場合は、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

自動更新の設定は、次の場所で行います。

[スタート] –「すべてのプログラム」–「Windows Update」–「設定の変更」



セキュリティーソフトウェア

∕ 制限

インターネットに接続する場合は、コンピューターウイルス感染や不正アクセスを防ぐため、セ キュリティーソフトウェアを必ず使用してください。

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を使う

本機には、ファイアウォールやウイルス対策機能を備えた「マカフィー・PCセキュリティセンター 90日期間限定版」がインストールされています。 ※購入時の選択によっては、インストールされていません。

マカフィー・PC セキュリティセンターのユーザー登録

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を使用するには、ユーザー登録が必要 です。インターネットに接続後、画面右下、通知領域の McAfee アイコン(WW)をダブルクリッ クして、ユーザー登録を行ってください。

> ユーザー登録を行わないと、製品の更新ができません。また、サポートセンターへの問い合わせにもユーザー登録が必要です。登録しないまま 2 週間以上経過すると、 ソフトウェアの自動更新が停止し、最新のセキュリティーで保護されなくなります。

マカフィー・PC セキュリティセンターの使用方法

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版の使用方法は、「ヘルプ」をご覧ください。

W McAfee セキュリティセンター	- × 合 ホーム ゆ 設定・統能等一覧 ® バージョン情報 ? ヘルブ
✔ ご使用のパソコンは保護されていま	ます。(対応の必要はありません) 🛛 🔍 McAfee
✔ リアルタイムスキャン:有効 >	× • <u>契約を購入</u>
✓ 更新の状態:最新 >	製約の詳細
✔ ファイアウォール:有効 >	
✓ ご契約状態: 有効	契約の有効期限: 2013/06/20
機能	
ウイルスおよびスパイウェア対策	~
ウェブとメールの保護	~
データ保護	~
パソコンとホームネットワーク用のツール	~
保護者機能	~

Windows のセキュリティー機能の設定

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版には Windows のセキュリティー機能 と同等の機能が備えられています。マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版が インストールされていると、次の Windows の機能は「無効」に設定されます。

●Windows ファイアウォール

•Windows Defender

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版の機能によりコンピューターのセキュリティーは守られていますので、Windows の機能は「無効」のままお使いください。

マカフィー・PC セキュリティセンターを一時的に無効にするには

お使いのソフトウェアなどで、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版を「無効」 にするよう指示があった場合は、一時的にマカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限 定版の機能を「オフ」にします。手順は、「ヘルプ」で確認してください。 機能を「オフ」にすると、セキュリティーが確保されなくなります。安全を十分に確認した上で 設定し、作業が終わったら、必ず「オン」に戻してください。

マカフィー・PC セキュリティセンターのアンインストール

市販のセキュリティーソフトウェアを使用する場合や、お使いのソフトウェアなどで指示があった場合には、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版をアンインストールします。 アンインストール方法は、次のとおりです。

- [スタート] 「コントロールパネル」 「プログラムのアンインストール」をクリックします。
- 2 「プログラムのアンインストールまたは変更」と表示されたら、「マカフィーセキュ リティセンター」を選択して「アンインストールと変更」をクリックします。
- ImcAfee ソフトウェアを削除」と表示されたら、削除するプログラムを選択し、[削
 除〕をクリックします。
- 4 「有効な契約が残っています。」と表示されたら、内容を確認し、[削除]をクリック します。
- 5 「ソフトウェアが削除されました。」と表示されたら、[今すぐ再起動] をクリックし ます。

コンピューターが再起動したら、アンインストールは完了です。

90日期間限定版(無料体験版)が期限切れしたら

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版には、一定の有効期間(製品使用開始 から 90 日間)が設定されています。

有効期限が切れた場合は、定義ファイルの更新やソフトウェアの自動バージョンアップが行われ なくなるため、最新のウイルスやスパイウェアなどの脅威に対応することができなくなり、大変 危険です。

90日期間限定版の有効期限が切れた場合は、有効期限の継続手続きを行うことをおすすめします。更新は有償になります。

更新手続きを行うことにより、最新の脅威に対応することができるようになります。

マカフィー・PC セキュリティセンターの再インストール

Windows の再インストールをしたら、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版をインストールします。インストール方法は、「別冊) 『ユーザーズマニュアル』をご覧ください。

マカフィー製品のサポート

正しく動作しない場合など、マカフィー製品に関するご相談については、下記へお問い合わせください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

●マカフィー・インフォメーションセンター

マカフィー製品購入前のマカフィー製品に関するお問い合わせ

マカフィー・サポート Web

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

E-mail によるお問い合わせフォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp

電話ナビダイヤル : 0570-010-220 IP 電話、光電話の場合: 03-5428-1899 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く) ●マカフィー・カスタマーオペレーションセンター 対応内容登録方法に関するご相談やお客さま登録情報の変更など

マカフィー・サポート Web

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

E-mail によるお問い合わせフォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp

電話ナビダイヤル : 0570-030-088 IP 電話、光電話の場合: 03-5428-1792 受付時間 9:00 ~ 17:00(土・日・祝祭日を除く)

●マカフィー・テクニカルサポートセンター 対応内容ソフトウェアの操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ

マカフィー・サポート Web

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

マカフィー・チャットサポート

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp

E-mail によるお問い合わせフォーム

http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp

電話ナビダイヤル : 0570-060-033 IP 電話、光電話の場合: 03-5428-2279 受付時間 9:00 ~ 21:00(年中無休) (FAX によるお問い合わせは受け付けておりません)

市販のセキュリティーソフトウェアを使う

市販のセキュリティーソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版をアンインストール (削除) してください。 グ p.45 「マカフィー・PC セキュリティセンターのアンインストール」

Webフィルタリングソフトウェア

Web フィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを表示しないようにするための技術です。Web フィルタリングを行うと、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

i-フィルター 30 日版を使う

本機には、Web フィルタリング機能を持つ「i – フィルター 30 日版」が添付されています。 家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへアクセスするのを制限したい ときなどは、i – フィルター 30 日版を使用することをおすすめします。

i-フィルター 30 日版のインストール

i-フィルター 30 日版のインストール方法は、「別冊)『ユーザーズマニュアル』をご覧ください。 市販の Web フィルタリングソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐた め、i-フィルター 30 日版はインストールしないでください。

i-フィルター 30 日版のユーザー登録

i -フィルター 30 日版を使用するには、ユーザー登録が必要です。 ユーザー登録はインターネットに接続した状態で行います。 ユーザー登録の方法は、次のとおりです。





- 2 「i -フィルター ・・・」画面が表示されたら、「使用許諾契約及び個人情報の取り扱い について」をよくお読みになり、[「i-フィルター…」お試し版を登録する]をクリッ クします。
- 3 「「i –フィルター」の開始」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってユーザー登録を行ってください。

i-フィルター 30 日版の使用方法

i-フィルター 30 日版をインストールすると、フィルター設定が有効になり、有害サイトにア クセスしようとすると、自動的にブロックされます。 初期設定では、フィルター強度は「ファミリー」です。フィルター強度は、利用者別に設定でき ます。必要に応じて、「フィルタリング設定」画面で設定を変更してください。 「フィルタリング設定」画面の表示方法は、次のとおりです。

- デスクトップ上の「i-フィルター」アイコンをダブルクリックします。

2 ログイン画面が表示されたら、E-Mail アドレスと管理パスワードを入力して [ログ イン]をクリックします。

3 i – フィルターのトップページが表示されたら、「フィルタリング設定」をクリック します。

「フィルタリング設定」画面が表示されます。

i-フィルター 30 日版の詳しい使用方法は、「かんたんナビ」をご覧ください。



参考 ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は セキュリティーソフトウェアのファイアウォール機能を有効にしている場合、インター ネット閲覧時に「i-フィルター 30 日版」でのインターネットアクセスに関する警告が 表示されることがあります。 この場合は、「i-フィルター 30 日版」の使用を許可してください。

i-フィルター 30 日版の利用期限

i - フィルター 30 日版の利用期限は、ユーザー登録後 30 日間です。利用期限が過ぎると、フィルター機能が停止します。

継続して利用する場合



本機に添付のi-フィルター 30 日版は、「i-フィルター更新パック」で継続利用 手続きを行うことはできません。

継続して利用しない場合

i-フィルター 30 日版のサポート

i-フィルター 30 日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。 よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジ タルアーツ社の次のホームページをご覧ください。 なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

http://www.daj.jp/cs/support.htm



ここでは、本機の省電力機能について説明します。

省電力状態

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような注意事項があります。移行する前に確認して正しくお 使いください。

- ●省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ(作成中の 文書やデータなど)は保存しておいてください。
- ●次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
 - 周辺機器を接続している
 - ソフトウェアを起動している
- ●次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。
 - ⑦ p.53 「時間経過で移行させない」
 - •光ディスクメディアへの書き込み時:書き込みに失敗する可能性
 - サウンド機能で録音、再生時:録音や再生が途中で切断される可能性
 - ・外部接続記憶装置(USB HDD など)へのデータ書き込み時:データ破損の可能性
 - ネットワーク機能を使っての通信時:通信が切断される可能性
 - ・動画再生時:コマ落ちしたりソフトウェアの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- ●次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
 - 省電力状態で周辺機器などの抜き差しを行った場合
 - •ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
- ●ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
 - このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
 - 再起動する
 - 省電力状態に移行しないように設定する
 ア p.53 「時間経過で移行させない」

省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

●ディスプレイの電源を切る

省電力の効果はスリープより低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。

●スリープ

作業中の内容を一時的に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。通常の状態へは数 秒で復帰できます(使用環境により復帰時間は異なります)。 スリープには次の2つがあり、作業中の内容の保存方法が異なります。

- ハイブリッドスリープ(初期値) スリープと休止状態を合わせた状態です。 作業中の内容はメモリーと HDD の両方に保存されます。 ・スリープ

作業中の内容はメモリーのみに保存されます。

●休止状態

作業内容を HDD に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。シャットダウン状態か らよりも早く通常の状態へ復帰できます(使用環境により復帰時間は異なります)。

休止状態を有効にする

本機では、休止状態が無効に設定されています。休止状態を有効にするには設定を行ってくださ い。

休止状態を有効にすると、スリープの状態がハイブリッドスリープからスリープに / 制限) 変わります。 (ア p.51 「省電力状態の種類」

休止状態を有効にする方法は次のとおりです。

- 【】 [スタート] − [コントロールパネル] − [システムとセキュリティ] − [電源オプショ ン」で、休止状態を有効にしたいプランの「プラン設定の変更」をクリックし、「詳 細な電源設定の変更しをクリックします。
- **2** 「スリープ」-「ハイブリッドスリープを許可する」を「オフ」に設定します。



[OK] をクリックします。

詳細設定
カスタマイズする電源プランを選択してから、お使いの コンピューターで電源を管理する方法を選択してください。
🔞 現在利用できない設定の変更
ノ(ランス [アクティブ] ・
 ・ 復帰時のパスワードを必要とする ・ ロード ディスク
■ デスクトップの背景の設定
■ ワイヤレスアダプダーの設定 □ スリーフ
■ 次の時間が経過後スリープする
 □ ハイブリット スリーブを許可する 設定:オフ マ
☆の時間が経過後休止状態にする
既定のプランの復元(<u>R</u>)
OK キャンセル 適用(A)

省電力状態に移行する方法

本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行しま す。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターが スリープになります。

省電力状態に移行する(ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする)ま での時間は、次の場所で変更することができます。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「電源オプション」 - 各プランの「プラン設定の変更」



時間経過で移行させない

光ディスクメディアなどに書き込みを行う場合は、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効 にします。時間をすべて「なし」に設定してください。

直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

操作	省電力状態の種類
[スタート]-[▷]から項目を選択する	スリープ、休止状態*

*購入時は表示されません。

電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源ランプ(🔆) で確認できます。

電源の状態	電源ランプの表示		
通常	点灯(緑色)		
ディスプレイの電源切	点灯(緑色)		
スリープ	点滅(緑色)		
休止状態	消灯		
シャットダウン(電源切)	消灯		

省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源切	点灯(緑色)	マウスやキーボードを操作する
スリープ	点滅(緑色)	 電源スイッチを押す USB キーボードを操作する USB マウスでクリックする PS/2 キーボードの () キー*を押す
休止状態	消灯	●電源スイッチを押す ● PS/2 キーボードの () キー*を押す

* 106 PS/2 コンパクトキーボード(ホットキー付)にのみ搭載されています。 PS/2 キーボードの場合、設定を変更すると、 Ctrl + (Esc) でも起動できます。 設定方法は、 ⑦ p.11 「PS/2 キーボードからの起動」をご覧ください。

Endeavor 電源プラン設定ツール

本機には節電設定を行うための「Endeavor 電源プラン設定ツール」が添付されています。 Endeavor 電源プラン設定ツールでは、3 つのおすすめ電源プランや、お客様ご自身で新規に作 成するプランの中から、使い方に合った筋電プランを設定することができます。 詳しくは、次の場所をご覧ください。

🔍 「PC お役立ちナビ」-画面下[ユーザーサポート]- FAQ 番号:21091

インストール

Endeavor 電源プラン設定ツールを使用するには、インストールが必要です。 購入時は、Windows セットアップ後に表示される「初期設定ツール」からインストールします。 初期設定ツールは次の場所から起動することができます。

[スタート] - 「すべてのプログラム」- 「初期設定ツール」

Windows の再インストール時は、次の場所をご覧ください。 「別冊)『ユーザーズマニュアル』 – 「ドライバー / ソフトウェアのインストール」

プランの変更方法

Endeavor 電源プラン設定ツールをインストールすると、「Endeavor おすすめ電源プラン 1 | が有効になります。必要に応じて、「Endeavor 電源プラン設定ツール|画面で設定を変更して ください。

変更方法は、次のとおりです。

[スタート] – 「すべてのプログラム」–「EPSON DIRECT」– 「Endeavor 電 源プラン設定ツール をクリックします。

▶ 2 変更したいプランを選んで [有効] をクリックします。

🧣 Endeavor 電源プラン設定ツール			×
電源オブションのブラン選択 ブランを有効にするはよ、有 プランを加まするはよ、フラン たし、あらわじめ登録されて の削除、内容編集はできませ 電源オブション ブラン	と編集を行ってくださ 対がボタンを押してく べ名を右クリックして にいる「Endeavorおす ん。	れ、。 たさい。 ください。 すめ電源プラン」	
プラン名	ステータス	時間指定	
Endeavorおすすめ電源プラン1	実行中	-	
Endeavorおすすめ電源ブラン2	無効	-	
Endeavorおすすめ電源ブラン3	無効	-	
プラン内容			
入って、ジャット 次の時間経過後ディスプレイ 電源に接続時 : 10 バッテリ駆動時 : 2 ディスプレイの明るさ 電源に接続時 : 40 パッテリ駆動時 : 40	の電源を切る 分後 分後 %		-
ハードディスク 次の時間経過後ハードディス 電源に接続時 : 15 バッテリ駆動時 : 5	クの電源を切る 分後 分後		Ŧ
追加	有効	無効	
		開じ	3

おすすめプランの内容や新規プラン作成方法は、次の場所をご覧ください。

↓「PC お役立ちナビ」-画面下[ユーザーサポート]- FAQ 番号:21091



セキュリティー機能

本機には、次のセキュリティー機能が搭載されています。

HDD ベイ用キーロック

本機には、HDD ベイ用キーロックが搭載されており、HDD の不正持ち出しや盗難の抑止に、 鍵をかけることができます。





コンピューターの基本状態を管理しているプログラム「BIOS」の設定を変更す る方法について記載しています。

BIOS の設定を始める前に	58
BIOS Setup ユーティリティーの操作	59
BIOS Setup ユーティリティーの設定項目	70

BIOS の設定を始める前に



当社製以外の BIOS を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があり ます。<u>当社製以外の BIOS へのアップデート</u>は絶対に行わないでください<u>。</u>

BIOSは、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。

BIOS の設定は「BIOS Setup ユーティリティー」で変更できますが、購入時のシステム構成に 合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。BIOS の設定を変更す るのは、次のような場合です。

●本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合

- ●パスワードを設定する場合
- ●マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合

BIOS の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく 確認してから変更を行ってください。

BIOS Setup ユーティリティーで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域 に保存されます。このメモリーはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電 源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。



リチウム電池の寿命

BIOS Setup ユーティリティーの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、本機のリチウム電池の寿命は約3年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してください。 「別冊」『ユーザーズマニュアル』 – 「リチウム電池の脱着(CMOS RAM の初期化)」

動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、設定値を戻すことができます。

🍞 p.64「Load Setup Defaults(BIOS の初期値に戻す)」

⑦ p.64 [Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)]

⑦ p.65 [Load Setup User Defaults (ユーザーの初期設定値に戻す)]

BIOS Setup ユーティリティーの操作

ここでは、「BIOS Setup ユーティリティー」の次の操作方法について説明します。

- ●基本操作(起動、操作、終了)
- ●設定値を元に戻す
- ●ユーザーの設定値を保存する
- ●パスワードを設定する
- ●起動(Boot)デバイスの順番を変更する

BIOS Setupユーティリティーの起動

本機の電源を入れる前に、キーボードの Delete の位置を確認してください。2 では、すばやく Delete を押す必要があります。

1

本機の電源を入れます。

すでに Windows が起動している場合は、再起動します。

2

本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに Delete を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。

Windows が起動してしまった場合は、再起動して 🙎 をもう一度実行してください。

3 「BIOS Setup ユーティリティー」が起動して「Main」 メニュー画面が表示されます。

Aptio Setup Utility-Copyright (C) 2011 American Megatrends,Inc. Main Advanced CPU Configuration Boot Security Exit				
BIOS Information BIOS Vender BIOS Build Date System BIOS Version	American Megatrends 10/05/2011 10:23:38 AP4-DO3-EY1	Set the Date. Use Tab to switch between Data elements.		
CPU Information Genuin Intel(R) CPU @ 3.30GHz Processor Speed Processor Cores	3300 MHz 6			
Memory Information Total Memory Size	2048 MB (DDR3 1600)			
System Date System Time	[Tue 10/18/2011] [13:10:18]	++: Select Screen 1+: Select Item Enter: Select +/-: Change Opt. F1: General Help F7: Previous Values F5: Setup Defaults F10: Save & Exit ESC: Exit		
Version 2.14.1209.Copyright (C) 2011 American Megatrends, Inc.				

< BIOS Setup ユーティリティー画面(イメージ)>

仕様が前回と異なるとき

本機の状態が、前回使用していたときと異なる場合は、本機の電源を入れたときに、「CMOS Message」が表示されることがあります。 「CMOS Message」が表示されたら、(J を押してください。

BIOS Setupユーティリティーの操作

「BIOS Setup ユーティリティー」の操作は、キーボードで行います。

ここで説明している画面は、イメージです。実際の設定項目とは異なります。各メニュー画面と 設定項目の説明は、 / ア p.70 「BIOS Setup ユーティリティーの設定項目」をご覧ください。

画面の構成

BIOS Setup ユーティリティーを起動すると次の画面が表示されます。 この画面で設定値を変更することができます。

処理メニュー	Aptio Setup Utility-Copyright (C) 2011 American Megatrends,Inc. Main Advanced CPU Configuration Boot Security Exit			
	BIOS Information BIOS Vender BIOS Build Date System BIOS Version	American Megatrends 10/05/2011 10:23:38 AP4-DO3-EY1	Set the Date. Use Tab to switch between Data elements.	
	CPU Information Genuin Intel(R) CPU @ 3.30GHz Processor Speed Processor Cores	3300 MHz 6		
	Memory Information Total Memory Size	2048 MB (DDR3 1600)		
設定項目	System Date System Time	[Tue 10/18/2011] [13:10:18]	++: Select Screen †↓: Select Item Enter: Select +/-: Change Opt. F1: General Help F7: Previous Values	
設た삩			F5: Setup Defaults F10: Save & Exit ESC: Exit	
	Version 2.14.1209.Co	pyright (C) 2011 American	Megatrends, Inc.	

操作方法

BIOS Setup ユーティリティーの操作方法は次のとおりです。



変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択し、設定項目を選択 します。

→ ← でメニュー間を移動します。

(↑) (→) で設定値を変更したい項目まで移動します。

処理メニュー —	Aptio Setup Utility-Copyright (C) 2011 American Megatrends,Inc. — Main Advanced CPU Configuration Boot Security Exit			
設定項目を選択 ―	Legacy OpROM Support Launch PXE OpROM Onboard Device Configuration ACPI Configuration USB Configuration USB Configuration Fan Control	[Disabled]	System ACPI Parameters.	
	Version 2.14.1209.C	opyright (C) 2011 American	++: Select Screen +: Select Item Enter: Select +/-: Change Opt. F1: General Help F7: Previous Values F5: Setup Defaults F10: Save & Exit ESC: Exit Megatrends, Inc.	
	Version 2.14.1209.0	opyngni (O) 2011 America	nwegatienus, me	
	<	<メニュー画面>		

▶ のある項目の場合

▶のある項目の場合、 → を押すとサブメニュー画面が表示されます。 ↑ → で設定値を変更したい項目まで移動します。



サブメニュー画面から戻るには(Esc)を押します。







キー操作

BIOS の画面を操作するときは、次のキーを使用します。

+	操作できる内容	
Esc	 ・変更した内容を破棄し、終了します。 ・サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。 	
↑, ↓	設定を変更する項目を選択します。	
, →	処理メニューを選択します。	
- , +	項目の値を変更します。	
ل ه)	 ・メニュー画面中の▶のある項目で押すとサブメニュー画面を表示します。 ・選択項目の選択ウィンドウを表示します。 ・設定値を選択します。 	
F1	ヘルプを表示します。	
F 5	全設定項目の値を、BIOS の初期値に戻します。	
F7	変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。	
F10	変更した設定値を保存して終了します。	

BIOS Setupユーティリティーの終了

「BIOS Setup ユーティリティー」を終了するには、次の2つの方法があります。

Save Changes & Exit (変更した内容を保存し終了する)

変更した設定値を保存して、BIOS Setup ユーティリティーを終了します。



F10〕を押す、または「Exit」メニュー画面-「Save Changes & Exit」を選択すると、 次のメッセージが表示されます。





「Yes」を選択し、 🚽 を押します。

「BIOS Setup ユーティリティー」が終了し、Windows が起動します。

Discard Changes and Exit (変更した内容を破棄し終了する)

変更した設定値を保存せずに、BIOS Setup ユーティリティーを終了します。



Esc を押す、または「Exit」メニュー画面-「Discard Changes and Exit」を 選択すると、次のメッセージが表示されます。

Exit With	out Saving —
Quit with	out saving?
[Yes]	[No]



「Yes」を選択し、 J を押します。

「BIOS Setup ユーティリティー」が終了し、Windows が起動します。

設定値を元に戻す

「BIOS Setup ユーティリティー」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、設定値を BIOS の初期値や前回保存した値に戻すことができます。

Load Setup Defaults (BIOS の初期値に戻す)

設定値を BIOS の初期値に戻す方法は、次のとおりです。

※「Security」メニュー画面の項目を BIOS の初期値に戻すことはできません。

1

F5 を押す、または「Exit」メニュー画面-「Load Setup Defaults」を選択すると、 次のメッセージが表示されます。

Load Setup Defaults — Load Setup Defaults? [Yes] [No]



「Yes」を選択し、 🚽 を押します。

これで設定値が「BIOS の初期値」に戻ります。

Load Setup Defaults 実行後の作業

次の場合は、Load Setup Defaults を実行したあとに、BIOS の設定値を設定しなおしてください。

RAID を構成している場合

RAID 機能を有効にします。 「Advanced」メニュー画面-「SATA Configuration」-「SATA Mode」を「RAID Mode」 に設定してください。

拡張ボードを装着している場合

ボードによっては、BIOSの設定値を変更する必要があります。ボードのマニュアルでご確認ください。

設定を行ったら、変更した内容を保存して終了します。 // p.63「Save Changes & Exit(変更した内容を保存し終了する)」

Discard Changes(前回保存した設定値に戻す)

設定値を前回保存した値に戻す方法は、次のとおりです。



F7 を押す、または「Exit」メニュー画面-「Discard Changes」を選択すると、 次のメッセージが表示されます。

— Load Previous Values — Load Previous Values? [Yes] [No]



「Yes」を選択し、 → を押します。

これで設定値が「前回保存した値」に戻ります。

「ユーザー設定値を保存する

「BIOS Setup ユーティリティー」の設定値を変更した場合、その状態を「ユーザー設定 値」として保存しておくことができます。ユーザー設定値を保存しておくと、「Load Setup Defaults」やリチウム電池の脱着を行って、設定値が「BIOSの初期値」になってしまった場 合などに、「ユーザー設定値」に戻すことができます。

Save as User Defaults(ユーザー設定値を保存する)

設定値を「ユーザー設定値」として保存する方法は、次のとおりです。



BIOS Setup ユーティリティーの設定値を変更します。



「Exit」メニュー画面-「Save as User Defaults」を選択すると、次のメッセー ジが表示されます。

Save Values as User Defaults – Save configuration? [Yes] [No]



「Yes」を選択し、🖵 を押します。

これで設定値が保存されます。

Load Setup User Defaults (ユーザーの初期設定値に戻す)

設定値を「ユーザー設定値」に戻す方法は、次のとおりです。 ※「Save as User Defaults」で設定値を保存後、実行可能になります。



「Exit」 メニュー画面-「Load Setup User Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

- Load Setup User Defaults -Load Setup User Defaults? [Yes] [No]



2 「Yes」を選択し、 ↓ を押します。

これで設定値が「ユーザー設定値」に戻ります。

「パスワードを設定する

本機を使用するユーザーを制限したいときは、パスワードを設定します。 パスワードを設定すると、BIOS や Windows の起動時にパスワードを要求されるようになりま す。

パスワードの種類

パスワードには次の2種類があります。

●Supervisor Password (管理者パスワード)

コンピューターの管理者用のパスワードです。管理者パスワードで BIOS にログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。

●User Password (ユーザーパスワード)

一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードで BIOS にログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます。

パスワードの設定方法

パスワードの設定方法を説明します。



設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、 BIOSの設定変更や、設定によっては Windowsの起動ができなくなります。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードの設定方法は、次のとおりです。



「Security」メニュー画面-「Supervisor Password」を選択して
して
し
を押すと、
次のメッセージが表示されます。

— Create New Password —



「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用でき るのは英数字だけです。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは8 文字まで入力可能です。

パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力 モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力 するとエラーになります。



続いて次のメッセージが表示されます。確認のためにもう一度同じパスワードを入 力し、↓↓を押します。

-Confirm New Password-

同じパスワードを入力しないと、[Invalid Password]というメッセージが表示されます。[Ok] が選択された状態で 🔁 を押すと、BIOS のメニュー画面に戻ります。この場合、 🚹 から やりなおしてください。

ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードは、 🎓 p.66「管理者パスワードの設定」 – 🚹 で「User Password」 を選択し、管理者パスワードと同様の手順で設定します。

パスワードの削除方法

パスワードの削除方法は、次のとおりです。 管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードで BIOS にログオンしてください。 ※ ユーザーパスワードを設定している場合、管理者パスワードを削除すると、自動的にユーザー パスワードも削除されます。



–Enter Current Password –



🔽 パスワードを入力して、 💶 を押すと、次のメッセージが表示されます。

—Create New Password—

3

何も入力せずに → を押すと、次のメッセージが表示されます。

-Confirm New Password-

🔼 何も入力せずに 🖵 を押します。 これで管理者パスワードが削除されました。 ユーザーパスワードを設定している場合は、ユーザーパスワードも削除されます。

〔起動(Boot)デバイスの順番を変更する

本機の電源を入れて起動しようとしたときに、USB 記憶装置(USB フラッシュメモリーや USB HDD など)を接続していたり、USB FDD に FD がセットされていると、Windows が 起動しないことがあります。

このような場合、「BIOS Setup ユーティリティー」で設定されている起動(Boot)デバイスの順番を変更すると、起動したいデバイスからシステムを起動することができます。

起動(Boot)デバイスの順番とは

電源を入れると、コンピューターは起動デバイスの順番に従ってデバイスを確認し、最初に見つけたシステム(OS)から起動します。

起動デバイスの順番は、「Boot」メニュー画面−「Set Boot Priority」で設定されています。 ⑦ p.74 「Boot メニュー画面」



<イメージ>

順番の初期値は次のとおりです。

番目:CD/DVD
 番目:USB Flash
 番目:USB Floppy
 番目:USB CD/DVD
 番目:Hard Disk
 番目:USB Hard Disk
 番目:Network
 番目:UEFI

起動(Boot)デバイスの順番の変更方法

起動デバイスの順番の変更方法は、次のとおりです。ここでは USB 記憶装置を接続した状態で Windows を起動できるように、1 番目に起動するドライブを光ディスクドライブ、2 番目に起 動するドライブを HDD に設定する方法を説明します。

- 【 「Boot」メニュー画面で「Set Boot Priority」を選択し、 ↓ を押します。
 - サブメニュー画面が表示されたら、現在の起動の順番を確認します。



HDDの順番を2番目に設定します。

- 2 選択ウィンドウが表示されたら、 ↑ ↓ で「Hard Disk」を選択し、 ↓ を押します。

HDD の順番が2番目になります。



<選択ウィンドウ>

BIOS Setup ユーティリティーの設定項目

ここでは、「BIOS Setup ユーティリティー」で設定できる項目と、設定方法などについて説明します。 BIOS Setup ユーティリティーには、次の6つのメニューがあります。

●Main メニュー画面

BIOS や CPU、メモリーの情報が表示されます。また、日時の設定を行います。

- ●Advanced メニュー画面 マザーボード上のデバイスの設定を行います。
- ●CPU Configuration メニュー画面 CPU の設定を行います。メモリーの情報も表示されます。
- ●Bootメニュー画面 システムの起動(Boot)に関する設定を行います。
- ●Security メニュー画面 セキュリティーに関する設定を行います。
- ●Exit メニュー画面 BIOS Setup ユーティリティーを終了したり、BIOS の設定値を初期値に戻したりします。

Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、BIOS や CPU、メモリーの情報が表示されます。また、日時の設定を行います。 設定項目は、次のとおりです。

> は 初期値 * は 項目表示のみ

BIOS Information		BIOSの情報が表示されます。
	*BIOS Vendor	BIOS のメーカー
	*BIOS Build Date	BIOS のバージョンの制定日
	*System BIOS Version	BIOS のバージョン
CPU Information		本機に搭載されている CPU の情報が表示されます。
	*CPUの型番	
	*Processor Speed	CPU の周波数
	*Processor Cores	CPUのコア数
Memory Information		本機に搭載されているメモリーの情報が表示されます。
	*Total Memory Size	本機に搭載されているメモリー容量の合計
System Date		日付を設定します。(曜日 月/日/年)
System Time		時刻を設定します。(時間:分:秒)

Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、マザーボード上のデバイスの設定を行います。 設定項目は、次のとおりです。

> は 初期値 * は 項目表示のみ

Lagoov OpPOM Support		オプション BOM 機能対応の設定をします
Launo		
Launc		A シドワークのTALオフションTIOW
PCIE Maximum Payload		
Unbo	ard Device Configuration	マサーホート上のナバイスの設定をします。
	Onboard Audio	マサーホード上のサウンド機能を使用するかどっかを設定します。
		Disabled:使用しません。
		Enabled :使用します。
	Intel Gigabit LAN	マザーボード上のネットワーク機能を使用するかどうかを設定します。
	Controller	Disabled:使用しません。
		Enabled :使用します。
ACPI	Configuration	本機の起動に関する設定をします。
	ACPI	初期値 [v3.0] のままで使用します。
	Restore on AC Power	電源スイッチを押さずに、電源供給時に起動するかどうかを設定します。
	Loss	分電盤などによる複数のコンピューターの同時起動を行うと、コンピューターの
		動作に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
		Power Off :電源が供給されても、電源スイッチを押さない限り起動しません。
		Power On :電源オフ時に、電源スイッチを押さなくても、電源が供給される
		とコンピューターが起動します。
		Last State:コンピューターの動作中に、雷などの影響で突然電源が切断され
		たあとに電源が再び供給されると、電源スイッチを押さなくても
		コンピューターが起動します。コンピューターを正常終了させた
		状態では、電源が供給されてもコンピューターは起動しません。
	PS/2 standby power	スリープ / 休止 / 電源切時に PS/2 コネクターに電源を供給するかどうかを設
		定します。
		Disabled:無効にします。
		Enabled :有効にします。
	Power on by PS/2	PS/2 キーボードを使用している場合に、起動 / 復帰をキーボードで行えるよう
	Keyboard	にするかどうかを設定します。
		Ctrl + ESC:(Ctrl) + (Esc) を使用します。
		Power Key: 106PS/2 コンパクトキーボード(ホットキー付)の場合、
		Power キー(())を使用します。
		Disabled :設定しません。
	Wake on Intel GbE LAN	電源切断時、マザーボード上のネットワーク(PCI Express 接続)から起動す
	from S5	るかどうかを設定します。この機能は、Windows を止常に終了した状態でのみ
		UISADIEA:設定しません。
		Enabled :設定します。
	Wake on PCI device	電源切断時、PCIのネットワークボードから起動するかどうかを設定します。こ
		の機能は、Windows を止常に終了した状態でのみ使用可能です。
		Disabled:設定しません。
		Enabled :設定します。

	Resume by RTC	コンピューターを指定した時間に起動させる設定をします。
		Disabled:設定しません。
		Enabled :設定します。
	RTC Wake up day/	起動する日時を設定します。
	hour/minute/second	
	※「Resume by RTC」を	
	[Enabled] に設定する	
0.4.7.4		
SATA		
	SATA Mode	シリアルATA HDD の動作モードを設定します。
		IDE Mode :IDE 互換モードで動作します。
		RAID Mode: RAID モートで動作します。
		AHCI Mode :シリアル ATA Native モードで動作します。
	Serial ATA Controller O	初期値 [Compatible] のままで使用します。
	※「SATA Mode」を	
	LIDE Mode 」に設定	
	りると表示されまり。	
	Serial ATA Controller T	初期値 [Enhanced] のままで使用します。
	※ SAIA Mode] を	
	[IDE MODE] に設正 オスと事テナわます	
	SATA Port O as 5	オ機に搭載されているドライブの設定をします
	SATAPOILO	本版に指載されている「シインの設定でします。 ※事示される詳細項日け、ドライブに上り異なります
	* ドライブの刑釆	※衣小C11の中個項目は、「シインにより共なりより。
036 (USB コンドローノーの設定をします。 初期値「Enabled」のままで使用します
	All USB2.0 Devices	10月10日」のよると使用しよす。
	Controller	
	Support	
Fan Control		如期値のままで使用します
CPU Configurationメニュー画面

「CPU Configuration」メニュー画面では、CPU の設定を行います。メモリーの情報も表示されます。 設定項目は、次のとおりです。

は初期	値
*は項目表示の	み

CPU (Configuration	本機に搭載されている CPU の設定をします。
	*CPU の型番	
	*CPU Signature	CPU の識別コード
	*MicroCode Revision	CPUのマイクロコード
	*Processor Max CPU Speed	CPU の最高周波数
	*Processor Min CPU Speed	CPU の最低周波数
	*Processor Speed	CPU の周波数
	*Processor Cores	CPU のコア数
	*64-bit Support	64bit OS の対応
	*Intel HT Technology Support	Intel HT Technology の対応
	*Intel VT-x Technology Support	Intel VT-x Technologyの対応
	*L1 Data Cache	CPUのL1 データキャッシュ容量
	*L1 Code Cache	CPUのL1 コードキャッシュ容量
	*L2 Cache	CPUのL2キャッシュ容量
	*L3 Cache	CPUのL3キャッシュ容量
	Hyper-Threading	ハイパースレッディングの有効 / 無効を設定します。
	※ 機能を持つ CPU 搭載	Disabled:無効にします。
	時に表示されます。	Enabled :有効にします。
	Turbo Mode	ターボモードの有効 / 無効を設定します。
	※ 機能を持つ CPU 搭載	Disabled:無効にします。
	時に表示されます。	Enabled :有効にします。
	$1\sim 6$ Core Ratio Limit	稼働しているコア数での倍率を設定します。
	※ 機能を持つ CPU 搭載 時に「Turbo Mode」 を[Enabled] に設定 すると表示されます。	※出荷時設定を上回る値を設定した場合は動作保証の対象外となります。
	*Intel Virtualization	Intel Virtualization Technology の有効 / 無効が表示されます。
	Technology	
	※ 機能を持つ CPU 搭載	
	時に表示されます。	
Memo	ry Information	本機に搭載されているメモリーの情報が表示されます。
	*Memory DIMM 1~4	各メモリースロットに装着されているメモリーの種類と容量
	*Total Memory Size	本機に搭載されているメモリー容量の合計

Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動(Boot)に関する設定を行います。 Boot 順番の変更方法については、 🍞 p.68「起動(Boot)デバイスの順番を変更する」をご覧ください。 設定項目は、次のとおりです。

は初期値 *は項目表示のみ

Boot	Configuration	本機起動時の設定をします。
Quiet	Boot	コンピューター起動時に EPSON ロゴを表示するかどうかを設定します。
		Disabled:表示しません。
		Enabled :表示します。
Fast I	Boot	本機の起動を高速化します。
		Disabled:無効にします。
		Enabled :有効にします。
Bootu	p NumLock State	DOS 起動時の NumLock の状態を設定します。
		Off: NumLock が押されていない状態にします。
		On : NumLock が押された状態にします。
UEFI I	Boot	UEFI から起動するかどうかを設定します。
		Disabled:無効にします。
		Enabled :有効にします。
Set B	oot Priority	ドライブの起動順番を設定します。
	1st Boot	1 番目に起動するドライブを設定します。
		初期值:CD/DVD
	2nd Boot	2番目に起動するドライブを設定します。
		初期值:USB Flash
	3rd Boot	3番目に起動するドライブを設定します。
		初期値:USB Floppy
	4th Boot	4 番目に起動するトフイノを設定します。
	Eth Deet	初期値:USB CD/DVD
	5th Boot	5 番日に起動9るトフイノを設定しま9。
		初期値、Hard DISK
	6th Boot	6 番目に起動するトライノを設定します。
	74 8 4	初期値、USB Hard DISK
	7th Boot	/ 番目に起動するドライノを設定します。
		初期値:NetWork
	8th Boot	8 番目に起動するトライノを設定します。
Driorit	VD RUM Drive BBS	光テイスクトフイノの起動順金の衣示されます。
FIIUIII		坐ディフクドライゴのお前時来
		ルティスクトライブの距動順番
Hard	Dick Drive BBS Priorition	HDD の記動順乗が実示されます
haiu	Let Root	

Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、セキュリティーに関する設定を行います。 パスワードの設定方法は、 C p.66「パスワードを設定する」をご覧ください。 設定項目は、次のとおりです。

> は 初期値 * は 項目表示のみ

Supervisor Password	管理者パスワードの設定や変更を行います。
User Password	ユーザーパスワードの設定や変更を行います。

Exitメニュー画面

「Exit」メニュー画面では、BIOS Setup ユーティリティーを終了したり、BIOS の設定値を初期値に戻したりします。

設定項目は、次のとおりです。

Save Changes and Exit	変更した内容(設定値)を保存してから、BIOS Setup ユーティリティーを終了し
	र 9 °
Discard Changes and Exit	変更した内容(設定値)を保存せずに、BIOS Setup ユーティリティーを終了します。
Discard Changes	BIOS Setup ユーティリティーを終了させずに、変更した設定値を前回保存した設
	定値に戻します。
Load Setup Defaults	BIOS Setup ユーティリティーの設定値を、BIOS の初期値に戻します。
	※「Security」メニュー画面の項目を BIOS の初期値に戻すことはできません。
Save as User Defaults	BIOSの設定値をユーザー設定値として保存します。
Load Setup User Defaults	設定値をユーザー設定値に戻します。
* [Save as User Defaults]	
で設定値を保存後、実行可	
能になります。	

BIOSの設定値

BIOS Setup ユーティリティーで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておくと便利です。ユーザー設定値は、保存しておくこともできます。

Advanced メニュー画面

項目		購入時の設定変更内容			內容
Legacy OpROM Support	Launch PXE OpROM	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Onboard	Onboard Audio	Disabled	Disabled Enabled		Enabled
Device Configuration	Intel Gigabit LAN Controller	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
ACPI Configuration	Restore on AC Power Loss	Power Off Power	Power Off Power On Last State		On Last State
	PS/2 standby power	Disabled Enabled		Disabled	Enabled
	Power on by PS/2 Keyboard	Ctrl + ESC Power Key Disabled C		Ctrl + ESC Power Key Disabled	
	Wake on Intel GbE LAN from S5	Disabled	Disabled Enabled Disabled Enabled		Enabled
	Wake on PCI Device	Disabled			Enabled
	Resume by RTC	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Wake on PCI device	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
SATA Configuration	SATA Mode	IDE Mode RAID N	Node AHCI Mode	IDE Mode RAID M	ode AHCI Mode

CPU Configuration メニュー画面

項目		購入時			
CPU	Hyper-Threading	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Configuration	Turbo Mode	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	1 Core Ratio Limit				
	2 Core Ratio Limit				
	3 Core Ratio Limit				
	4 Core Ratio Limit				
	5 Core Ratio Limit				
	6 Core Ratio Limit				

Boot メニュー画面

	項目	購入時	の設定	変更	内容
Boot	Quiet Boot	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Configuration	Fast Boot	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Bootup NumLock State	Off	On	Off	On
	UEFI Boot	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Set Boot	1st Boot				
Priority	2nd Boot				
	3rd Boot				
	4th Boot				
	5th Boot				
	6th Boot				
	7th Boot				
	8th Boot				

Security メニュー画面

項目	購入時の設定	変更内容
Supervisor Password		
User Password		



本機のお手入れ方法や HDD 領域の変更方法などについて記載しています。

お手入れ	80
HDD 領域の変更	81
コンピューターを廃棄するときは	85



本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってく ださい。キーボードやマウスの外装の汚れも同様です。



ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。 変色や変形の可能性があります。

通風孔

通風孔にホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。 定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。

内部

本体内部にホコリなどがたまっている場合は、エアースプレーで吹き飛ばしてください。

●作業するときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
 電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火災の原因となります。

●電源ユニットは絶対に分解しないでください。 けがや感電・火災の原因となります。

・作業時は、誤って本体内部の部品を傷つけないよう注意してください。
 ・水分を含ませたティッシュや化学ぞうきんなどは、使わないでください。
 水分や化学物質により故障の原因となります。

HDD 領域の変更

ここでは、HDD 領域の変更方法について説明します。

HDD領域を分割して使用する(概要)

HDD 領域は、いくつかに分割して使用することができます。 分割したひとつひとつの領域を「パーティション」と言います。また、Windows で使えるよう に作成した領域を「ドライブ」と言います。



HDD 領域分割のメリットとデメリット

HDD 領域を分割すると、次のようなメリット・デメリットがあります。 HDD 領域を分割する場合は、これらをよく理解した上で行ってください。

メリット

HDD 領域を分割してデータの保存先を分けておくことで、Windows の再インストール(リカバリー)時に最小限の作業で元の環境に復帰することができます。



リカバリーを行うと、Cドライブのデータはすべて消去されます。



たとえば、Windows やソフトウェアは C ドライブに、作成したデータなどは D ドライブに保存しておきます。

この状態でリカバリーを行うと、消去されるのは C ドライブのみとなるため、D ドライブのデータは、リカバリー後、すぐにそのまま使用することができます。

リカバリーを行うときは、万一に備え、Cドライブ以外のドライブの重要なデータ もバックアップしておくことをおすすめします。

デメリット

- •HDD 領域変更の際、ドライブを削除すると、ドライブ内のデータはすべて消去されます。
- HDD 領域を分割して使用すると、それぞれ分けられた領域の最大容量までしか使用できな いため、それぞれの領域により、容量が制限されます。

´HDD領域の変更(拡張/縮小/削除/作成)

HDD 領域の変更は、Windows の「ディスクの管理」で行います。 C ドライブ (Windows がインストールされているドライブ)の領域変更も、「ディスクの管理」 で行うことができます。

Windows の再インストール中に領域変更する
 HDD 領域の変更は、Windows の再インストール中に行うこともできます。
 別冊 『ユーザーズマニュアル』 - 「Windows のインストール」
 ドライブの作成は、「ディスクの管理」で行ってください。

・作業の前に、重要なデータは外付け HDD などにバックアップしてください。
 ・拡張は、ドライブのすぐ後ろ(右隣)に「未割り当て」領域がある場合のみ可能です。
 ・縮小できるサイズには限界があります。
 ・C ドライブ(Windows がインストールされているドライブ)は削除できません。
 ・ドライブを削除すると、ドライブ内のすべてのデータは削除されます。
 ・作成は、「未割り当て」領域がある場合のみ可能です。

HDD 領域の変更(拡張/縮小/削除/作成)方法は、次のとおりです。

1

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「管理ツール」 - 「コンピューターの管理」 - 「ディスクの管理」を開きます。

新しい HDD を装着した場合は、「ディスクの初期化」画面が表示されます。[OK]をクリックして、ディスクの初期化を行ってください。

	圕 コンピューターの管理							
	ファイル(<u>E</u>) 操作(<u>A</u>) 表示(<u>V</u>)	ヘルプ(旦)						
	振 コンピューターの管理 (ローナ	ボリューム	レイアウト	種類	ファイル シス.	状態	操作	
	▲ 🎇 システム ツール		シンプル	ベーシック	NTEC	正常 (アクティブ,回)	復パ ディスクの管	理 🔺
	▶ ● ダスクスケンユーラ	🖿 (C:)	シンノル	ヘーシック	NIFS	止吊 (ノート, ペーン	20 他の操作	•
	▶ 📓 共有フォルダー							
	▷ 🌆 ローカル ユーザーとグ	۰ (III) ا	11				- F	
	▶ ⑧ パフォーマンス	Q = 1750		1	ĺ		<u>)</u>	
	デバイスマイーンヤー 4 (き 記憶域)	ベーシック		(C:)				
クリック —	● ディスクの管理	465.76 GB	500 MB	39.06 GE	NTFS 42	6.21 GB		
	▶ 🌆 サービスとアノソワーショ	オンライン	正常 (アク	・ 正常 (ブ-	-ト,ページ 未	割り当て		
)	
		🔮 CD-ROM 0						
		DVD (D:)						
		J= Z →+N					-	
	< >	■未割り当て■	プライマリ パ	ーティション	·			
				///	- 11		年うを発	
			*	ヘイメ-	-ン>	HDD 禎	或の仄態	

2 HDD 領域の変更(拡張 / 縮小 / 削除 / 作成)を行います。

ドライブを拡張する場合

- 拡張するドライブを右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの拡張」 をクリックします。
- ②「ボリュームの拡張ウィザードの開始」と表示されたら、[次へ]をクリックします。
- ③「ディスクの選択」と表示されたら、「ディスク領域(MB)を選択」で拡張する容量を入力し、[次へ]をクリックします。
- ④「ボリュームの拡張ウィザードの完了」と表示されたら、[完了]をクリックします。 ドライブが拡張され、ドライブの容量が増えます。

ドライブを縮小する場合

- 縮小するドライブを右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの縮小」 をクリックします。

ドライブを削除する場合

- 削除するドライブを右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの削除」 をクリックします。
- ②「・・・続行しますか?」と表示されたら [はい]をクリックします。 ドライブが削除され、「未割り当て」領域が増えます。

ドライブを作成する場合

- 「未割り当て」を右クリックして、表示されたメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックします。
- ②「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」と表示されたら、「次へ」をクリックします。
- ③「ボリュームサイズの指定」と表示されたら、サイズを指定して、「次へ」をクリックします。
- ④「ドライブ文字またはパスの割り当て」と表示されたら、ドライブ文字を選択して [次 へ]をクリックします。
- ⑤「パーティションのフォーマット」と表示されたら、「次へ」をクリックします。
- ⑤「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」と表示されたら、[完了]をクリックします。 フォーマットが開始します。フォーマットが完了したら、ドライブが使用できるようになります。

🔗 参考 パーティションの種類

- パーティションには、「プライマリパーティション」と「拡張パーティション」があります。
- 1 つの HDD に作成できるパーティションは最大で 4 つです。
- •「消去禁止領域」もパーティションの1つです。
- パーティションを作成すると、自動的に3つ目まではプライマリパーティションとなり、4つ目は拡張パーティションとなります。
- 拡張パーティションには、論理ドライブをいくつも作成できます。

<パーティションの組み合わせの例>



コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項や、HDDのデータ消去方法について説明します。 パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

http://shop.epson.jp/pcrecycle/

「コンピューターの廃棄・譲渡時のHDD上のデータ消去に関するご注意

コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。 これらのコンピューターの中の HDD という記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されてい ます。

したがって、そのコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。

ところが、この HDD 内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ① データを「ごみ箱」に捨てる
- 2 「削除」 操作を行う
- 〇 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ④ ソフトで初期化(フォーマット)する
- 付属のリカバリー CD/DVD を使い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。

まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OS のもとでファイルを復元する事ができてしまいます。 更に 2 ~ ⑤ の操作をしても、HDD 内に記録されたデータのファイル管理情報が変更される だけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読 みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターの HDD 内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、HDD 上の重要なデータが流出するとい うトラブルを回避するためには、HDD に記録された全データを、ユーザーの責任において消去 することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(有償)を 利用するか、HDD 上のデータを物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、HDD上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくコンピュー ターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確 認を行う必要があります。

HDDのデータを消去する

本機を廃棄する前に HDD のデータを消去してください。

ドライバー CD に収録されている「システム診断ツール」では、HDD 内のデータを<u>すべて</u>消去 することができます。

<u>消去を開始すると、HDDのデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップし</u> てください。



データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。 HDD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

消去されるデータ

HDD を複数搭載している場合

この機能で消去できるデータは、SATAO (PortO)のHDDのデータのみです。そのほかの HDDのデータを消去したいときは、HDDをSATAO (PortO)のベイへ入れ替えてからデー タの消去を行ってください。

RAID を構成している場合

RAID を構成しているすべての HDD のデータが消去されます。

データの消去

HDD 内のデータを消去する手順は、次のとおりです。

- ▲機の電源を入れ、ドライバー CD を光ディスクドライブにセットします。 「自動再生」画面が表示されたら、 図 をクリックして画面を閉じてください。
- 2 [スタート] [▷] –「再起動」をクリックして、本機を再起動します。
- 3 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。 システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 4 Ctrl + C を押して診断を中止した後、どれかキーを押します。
- 5 選択項目画面が表示されたら、→ で「HD Erase」を選択して → を押します。
 - Ď 選択項目画面が表示されたら、↓ で「Full Erase」を選択して ↓ を押します。
 - 選択項目画面が表示されたら、「No Verify」を選択して → を押します。 「!!WARNING!!」画面が表示されます。 消去が開始されると、途中で止めることはできません。 消去を中止する場合は、「Esc」を押すと、「システム診断ツール」画面に戻ります。

8 キーボードで「Yes」と入力します。

消去が始まります。 消去には、しばらく時間がかかります。かかる時間は容量によって異なります(40GBの HDD で約 30 分)。



9 [Erase of HDO :Passed Press any key to continue.] と表示されたら、ドラ イバーCDを光ディスクドライブから取り出して、コンピューターの電源を切ります。 これでデータの消去は完了です。

EPSON DIRECT CORPORATION

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/